

小児の胸部写真撮影に関するご案内

お子さまが検査を安全に、安心して受けていただくために色々な工夫がなされています。

● 撮影風景



網で体を固定する装置を使用した撮影例です。検査後に痕が残る事もありますが、ご了承ください。



撮影時に体が動かないようにバンド等を使って固定することがあります。



仰向けで撮像する場合の撮影例です。このような固定具を使うことがあります。



年長のお子様の撮影例です。施設によってはビデオを見ながら撮影することもあります。

● Q&A

Q 数日前に胸部写真を撮影したばかりですが何度も撮影して大丈夫でしょうか？

A 健康への影響はありません。胸部撮影で受ける放射線の量は微量であり、健康被害は認められていません。



Q 撮影する際衣服を脱ぐように言われましたがなぜですか？

A まれに、衣服のペイント柄、しわ等が写り診断に支障をきたす場合があります。このようなことを避けるため、できるだけ上半身の衣服を脱いでいただくようご協力をお願いします。

Q 撮影の時、動いてしまうかも知れませんが大丈夫ですか？

A お子さんの状況に応じて、体を抑えたり専用の固定器具を使用して撮影を行いますので大丈夫です。このために、泣いてしまうお子さんもいらっしゃいますが、しっかりとした撮影を行うためですので、ご理解下さい。



Q 検査を受ける時に子供が泣いてしまいましたが大丈夫ですか？

A お子様が泣いてしまっても撮影に影響はありません。

Q 動いてしまいう一度撮影と言われましたがなぜですか？

A 撮影時に動いてしまうと、診断に影響をおよぼします。細心の注意を払い撮影を行っておりますが、まれにこのようなことが起こった際、画像を確認し、診断に影響する場合のみ再度撮影をお願い致します。ご理解のほど、よろしくお願い致します。

✱ その他の疑問については、遠慮なく私たちに聞いて下さい。